



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年11月11日

上場会社名 尾家産業株式会社  
 コード番号 7481 URL <http://www.oie.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月12日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 尾家 啓二  
 (氏名) 尾家 健太郎  
 配当支払開始予定日

TEL 06-6375-0158  
 2019年12月6日

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	49,048	△0.5	249	△13.5	295	△15.2	306	46.0
2019年3月期第2四半期	49,319	4.4	288	△8.4	348	0.9	210	△15.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	33.90	—
2019年3月期第2四半期	23.22	—

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	33,832		13,066		38.6	1,444.11
2019年3月期	32,522		12,881		39.6	1,423.61

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 13,066百万円 2019年3月期 12,881百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2020年3月期	—	10.00			
2020年3月期(予想)			—	10.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	101,500	1.4	1,015	36.3	1,075	26.7	660	25.1	72.94

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	9,255,000 株	2019年3月期	9,255,000 株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	206,739 株	2019年3月期	206,739 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	9,048,261 株	2019年3月期2Q	9,048,464 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、政府や日本銀行主導の各種施策の推進により、企業収益、雇用情勢や所得環境の改善が見られるなど、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方で米中間の貿易摩擦の激化、英国のEU離脱にかかるリスクの高まりが世界経済に与える影響や、消費税増税による消費の落ち込みが懸念されるなど、景気の先行きは依然、不透明な状況が続いております。

当社の主要取引先であります外食産業市場におきましては、改元を祝う各社の施策や例年よりも休日数が増えたGW(ゴールデンウィーク)の影響等により、2019年6月までは34カ月連続して売上は前年を上回りました。

7月度は長梅雨による天候不順が影響し、売上は前年を下回りましたが、8月度、9月度は夏期休暇の長期化や天候回復により、前年を上回りました。また、外食業界の重要なターゲットである訪日外国人観光客は、政府間の関係悪化の影響により、韓国人旅行者の減少が続いてはおりますが、9月に開幕したラグビーワールドカップにより、欧米豪からの訪日客を中心に増加し、9月度は前年比5.2%増の227万人を記録しました。

このような経済環境の下、当社は長期的目標であります「いい会社をつくろう」を目指し、2019年4月より、第四次3ヶ年中期経営計画「Change to the Next 新時代に向けて変革していこう」を実行しております。初年度の当期は、基本方針として「選択と集中」「収益力の強化」「人財の育成」を掲げ、全社を挙げて計画達成に向けて取り組んでおります。

営業政策としましては、注力業態であるヘルスケアフード事業の年間売上予算140億円の達成に向け、2019年5月から6月にかけて大阪・東京・名古屋・福岡にて病院・高齢者施設を対象に

「やさしいメニュー」セミナー&提案会を実施し、来場いただいたユーザーへの営業を強化しました。その結果、新たに5千万円を超える取引に繋げることができております。

また、2019年8月から9月には秋季提案会を14会場で開催し、6,590名の来場者に対し、「食べて応援 日本×世界の料理」をテーマに、秋冬向けメニューと商材の提案を行いました。仕入先と連携し、出展商品の新規採用に向けた営業強化を進めているところであります。以上の取組みは、新たなユーザーとの取引に向けた施策としても効果があり、2019年4月以降、287社を超える新規ユーザーとの取引に繋がりました。

拠点政策としましては、2019年9月末現在では、全国46事業所(11支店、33営業所、サンブラザ2店(業務用食品スーパー))と前期末と同数であります。5月に新築移転を行った広島支店では、より厳格な温度管理を可能にする為に11基のドックシェルターを備えるなど、労働環境の改善と同時に、安全安心な物流品質の提供を実現しており、今後は中四国エリアの物流拠点として、更に業容を拡大して参ります。

物流政策としましては、42事業所に導入が完了した「ボイスシステム(音声による入出庫作業と在庫管理)」の活用による作業効率の改善を更に進めてゆくと共に、賞味期限管理を強化する為に、出荷業務とたな卸業務への活用を進め、在庫管理のレベル向上を図っております。また、食品取扱の一般衛生管理、配送上の物流衛生管理、業務運用上のルールを定め、外食版HACCPへの対応準備を進めております。

営業用自社車両全台に導入済みの「無事故プログラムDR(DRIVE RECORDER)」につきましては、AIを活用した違反検知機能搭載機種に変更し安全運転の取組を更に強化しております。

以上の結果、当第2四半期累計期間の経営成績は、売上高490億48百万円(前年同期比0.5%減)、営業利益2億49百万円(前年同期比13.5%減)、経常利益2億95百万円(前年同期比15.2%減)、四半期純利益3億6百万円(前年同期比46.0%増)と減収増益となりました。

なお、当社は食品卸売事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第2四半期会計期間末の総資産は、338億32百万円となり、前事業年度末と比較して13億9百万円の増加となりました。

主な要因は、現金及び預金が30億31百万円、商品が1億49百万円、建設仮勘定が5億21百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が13億96百万円、未収入金が5億45百万円、建物が1億42百万円、土地が2億50百万円減少したことによります。

## (負債)

負債は207億65百万円となり、前事業年度末と比較して11億24百万円の増加となりました。

主な要因は、1年内返済予定の長期借入金が3億36百万円、未払金が1億25百万円、未払法人税等が2億56百万円、長期借入金が3億66百万円増加したことによります。

## (純資産)

純資産は130億66百万円となり、前事業年度末と比較して1億85百万円の増加となりました。

主な要因は、繰越利益剰余金が2億16百万円増加したことによります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、2019年5月10日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	1,267,118	4,298,709
受取手形及び売掛金	12,947,724	11,550,763
商品	2,847,509	2,996,879
未収入金	1,582,418	1,036,482
その他	40,894	81,783
貸倒引当金	△31,034	△27,718
流動資産合計	18,654,630	19,936,899
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物	3,663,931	3,489,274
減価償却累計額及び減損損失累計額	△652,670	△620,880
建物(純額)	3,011,260	2,868,394
建物附属設備	5,057,984	5,124,272
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,068,508	△2,209,798
建物附属設備(純額)	2,989,476	2,914,473
構築物	248,899	241,738
減価償却累計額及び減損損失累計額	△100,361	△105,230
構築物(純額)	148,538	136,507
機械及び装置	336,849	345,489
減価償却累計額及び減損損失累計額	△156,718	△171,432
機械及び装置(純額)	180,130	174,057
車両運搬具	3,786	3,786
減価償却累計額	△3,049	△3,196
車両運搬具(純額)	737	590
工具、器具及び備品	511,078	548,433
減価償却累計額及び減損損失累計額	△314,202	△334,849
工具、器具及び備品(純額)	196,876	213,584
土地	2,361,011	2,110,131
建設仮勘定	14,040	535,320
有形固定資産合計	8,902,071	8,953,057
<b>無形固定資産</b>		
ソフトウェア	130,811	133,355
ソフトウェア仮勘定	—	6,580
電話加入権	26,614	26,614
無形固定資産合計	157,425	166,550
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	1,434,656	1,391,260
差入保証金	2,553,773	2,510,476
会員権	29,600	29,558
保険積立金	30,960	30,960
破産更生債権等	52,652	56,049
繰延税金資産	485,890	535,217
投資不動産	507,783	507,783
減価償却累計額	△221,531	△223,701
投資不動産(純額)	286,251	284,082
その他	10,540	9,522
貸倒引当金	△75,888	△71,558
投資その他の資産合計	4,808,437	4,775,569
固定資産合計	13,867,934	13,895,178
資産合計	32,522,565	33,832,077

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	14,453,271	14,430,265
1年内返済予定の長期借入金	372,000	708,000
リース債務	56,868	66,032
未払金	72,010	197,783
未払費用	1,409,293	1,351,786
未払法人税等	—	256,365
賞与引当金	280,000	300,000
その他	22,620	23,694
流動負債合計	16,666,065	17,333,927
固定負債		
長期借入金	525,000	891,000
リース債務	102,971	124,021
退職給付引当金	1,436,702	1,481,595
役員退職慰労引当金	249,888	246,130
資産除去債務	602,730	630,118
その他	58,024	58,624
固定負債合計	2,975,315	3,431,489
負債合計	19,641,381	20,765,416
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,305,700	1,305,700
資本剰余金		
資本準備金	1,233,690	1,233,690
資本剰余金合計	1,233,690	1,233,690
利益剰余金		
利益準備金	154,131	154,131
その他利益剰余金		
別途積立金	4,600,000	4,600,000
繰越利益剰余金	5,102,079	5,318,365
利益剰余金合計	9,856,210	10,072,496
自己株式	△171,717	△171,717
株主資本合計	12,223,882	12,440,168
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	657,301	626,492
評価・換算差額等合計	657,301	626,492
純資産合計	12,881,184	13,066,661
負債純資産合計	32,522,565	33,832,077

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	49,319,751	49,048,680
売上原価		
商品期首たな卸高	2,833,587	2,847,509
当期商品仕入高	41,711,672	41,214,080
合計	44,545,260	44,061,589
商品期末たな卸高	2,949,747	2,996,879
商品売上原価	41,595,512	41,064,710
売上総利益	7,724,238	7,983,970
販売費及び一般管理費	7,435,697	7,734,341
営業利益	288,541	249,628
営業外収益		
受取利息	2,277	2,141
受取配当金	8,036	8,860
貸倒引当金戻入額	—	7,646
受取賃貸料	34,729	60,457
雑収入	20,211	13,148
営業外収益合計	65,255	92,254
営業外費用		
支払利息	1,109	1,804
賃貸費用	3,949	43,008
雑損失	218	1,480
営業外費用合計	5,277	46,293
経常利益	348,518	295,590
特別利益		
固定資産売却益	—	187,595
特別利益合計	—	187,595
税引前四半期純利益	348,518	483,186
法人税、住民税及び事業税	21,900	212,085
法人税等調整額	116,515	△35,668
法人税等合計	138,415	176,417
四半期純利益	210,103	306,768

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。